

事務事業名		大船渡市防災観光交流センター運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		
	施策名	19 適正な土地利用の推進				
	基本事業名	03 被災地の新たなまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 1 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令		津波防災地域づくりに関する法律		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 05 02 04 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
所属	部課名	災害復興局 大船渡駅周辺整備室		全体計画 (※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	熊谷 明人				
	係名	電話	0192-27-3111			
	担当者	佐藤 大基	内線			348
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・大船渡市防災観光交流センター(以下「おおふなぼーと」)について、当該施設の運営・管理・修繕を適切に行うことを通じて、津波発生時における緊急避難の場所を確保するとともに、観光資源に関する情報の発信及び市民等の交流の場を提供し、もって安全で賑わいのあるまちづくりに資する施設とするものである。 ・指定管理者の公募及び選定、事業計画書の内容精査、運営管理業務委託契約の締結、運営に関する助言・指導、施設の修繕対応及び業務報告書の検証など。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標											
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・新規事業のため実績なし 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・指定管理者等による自主事業の開催 ・専門家で構成するアドバイザーボードの開催等による運営支援 ・指定管理者との業務委託契約等に係る協議	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 自主事業の回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ アドバイザーボードの開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 協議回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 自主事業の回数	回	イ アドバイザーボードの開催回数	回	ウ 協議回数	回	エ	
名称	単位										
ア 自主事業の回数	回										
イ アドバイザーボードの開催回数	回										
ウ 協議回数	回										
エ											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・おおふなぼーとを利用する市民 ・市民の活動・交流等に供する施設数	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ おおふなぼーとを利用する市民</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 市民の活動・交流等に供する施設数</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ おおふなぼーとを利用する市民	人	キ 市民の活動・交流等に供する施設数	施設	ク		ケ	
名称	単位										
カ おおふなぼーとを利用する市民	人										
キ 市民の活動・交流等に供する施設数	施設										
ク											
ケ											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・おおふなぼーとの利用促進 ・設置目的の効果的かつ効率的な達成	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ おおふなぼーとの来館者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ おおふなぼーとの稼働率(貸室)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ おおふなぼーとの来館者数	人	シ おおふなぼーとの稼働率(貸室)	%	ス		セ	
名称	単位										
サ おおふなぼーとの来館者数	人										
シ おおふなぼーとの稼働率(貸室)	%										
ス											
セ											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・災害からの復興に向けた拠点となる中心市街地が形成される ・将来にわたり継続して魅力と賑わいある中心市街地のまちづくりを官民協働による進めることができる											

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>年度</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>元年度(目標)</th> <th>2年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">投入量</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>29,841</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>29,841</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7,200</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>37,041</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>36,234</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>施設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>66,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				単位	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	投入量	事業費	財源内訳	千円							国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円							地方債	千円							その他	千円							一般財源	千円					29,841		事業費計(A)	千円		0	0	0	0	29,841	0	人件費	正規職員従事人数	人						1.0		延べ業務時間	時間						1,800		人件費計(B)	千円		0	0	0	0	7,200	0	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	0	0	37,041	0	⑤活動指標	ア	回						100			イ	回						4			ウ	回						3		⑥対象指標	カ	人						36,234		キ	施設						18		ク									ケ									⑦成果指標	サ	人						66,000		シ	%						35.0		ス									セ								
		単位	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)																																																																																																																																																																																																										
投入量	事業費	財源内訳	千円																																																																																																																																																																																																																
		国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																																																
		都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																																																																
		地方債	千円																																																																																																																																																																																																																
		その他	千円																																																																																																																																																																																																																
	一般財源	千円					29,841																																																																																																																																																																																																												
	事業費計(A)	千円		0	0	0	0	29,841	0																																																																																																																																																																																																										
	人件費	正規職員従事人数	人						1.0																																																																																																																																																																																																										
		延べ業務時間	時間						1,800																																																																																																																																																																																																										
		人件費計(B)	千円		0	0	0	0	7,200	0																																																																																																																																																																																																									
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	0	0	0	37,041	0																																																																																																																																																																																																										
⑤活動指標		ア	回						100																																																																																																																																																																																																										
	イ	回						4																																																																																																																																																																																																											
	ウ	回						3																																																																																																																																																																																																											
⑥対象指標	カ	人						36,234																																																																																																																																																																																																											
	キ	施設						18																																																																																																																																																																																																											
	ク																																																																																																																																																																																																																		
	ケ																																																																																																																																																																																																																		
⑦成果指標	サ	人						66,000																																																																																																																																																																																																											
	シ	%						35.0																																																																																																																																																																																																											
	ス																																																																																																																																																																																																																		
	セ																																																																																																																																																																																																																		

事務事業ID	1780	事務事業名	大船渡市防災観光交流センター運営事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

- ・平成23年3月、東日本大震災により壊滅的な被害を受けたため、大船渡駅周辺地区の復興を図る必要が生じた
- ・平成26年3月、大船渡駅周辺地区まちづくりグランドデザイン(以下「グランドデザイン」)(※)を策定し、大船渡駅周辺地区のまちづくりにあたっては、JR大船渡線より海側に一時避難場所を確保すること、また、大船渡地区津波復興拠点整備事業基本計画(以下「基本計画」)を策定し、一時避難場所及び津波復興拠点支援施設(幅広い市民活動の拠点となる施設)を合築すること、指定管理者制度の導入を検討することとした
- ※復興計画に定める土地利用方針に基づく大船渡駅周辺地区の市街地整備方針

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・平成30年6月、大船渡市防災観光交流センター全館オープン(指定管理者:大船渡市観光物産協会)
- ・平成30年10月、アドバイザーボードの助言に基づき、津波避難誘導に係る原則及びマニュアルを策定
- ・平成30年12月、アドバイザーボードの助言に基づき、市民に親しまれる施設とするため、公募を経て施設愛称を「おおふなぼーと」に決定
- ・平成31年3月末、施設利用者数延べ55,407人

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・市民からは、情報発信強化や津波学習機能充実のほか、誰もが心地よく活用できるよう、柔軟な運営に努めること等を望む意見が寄せられている
- ・アドバイザーボードからは、運営にあたり「利用者とのコミュニケーションを図りながら、空間を利用者一人ひとりにとっての大切な場所に変えていくこと」、「明確な仕切りがないことを活かし、緩く交流や知る楽しみを得ることが出来る拠点となること」に留意すること等の助言をいただいている
- ・市議会及び津波復興拠点整備事業区域の事業者からは、買い物目的以外の集客装置となるよう期待が寄せられている

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	